



復旧・復興に全力！

岩手の再建に向けた重点政策

自民党岩手県連

大震災からの早期復旧・復興。絆の力で、岩手を再建しよう。

東日本大震災により、今わたしたちは未曾有の危機に直面しています。

被災地、被災された方々に残された大きな爪痕。その悲劇を思うと言葉がありません。心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

今、わが国、そして岩手県の最大の政治課題は、この大震災からの復旧・復興を早期決断と実行力をもってどのように成し遂げるかです。

わたしたちは、皆さんと一緒に前を向いて岩手を立て直すために、そして再建をなしえた岩手が新しい希望の明日を迎えるために、全力を尽くしてまいります。

1. 災害対策・復興に万全を尽くします。

●被災者の生活支援策の充実

被災者生活再建支援制度や生活福祉資金制度等を拡充し、生活再建に万全を図ります。

中小・小規模企業者、自営業者の資金ニーズへの万全な支援体制等を確立します。

●復旧・復興対策の推進

地域の実情を汲み取り、地域の発意を重視した復興に努めます。

十分な防災機能をもった湾口防波堤・防潮堤、漁港の再整備、改良復旧を推進します。

●危機管理体制の確立

災害等の非常時の指揮命令系統、危機管理体制を構築します。

安否情報や災害情報等の早期入手、迅速な対応のための通信システムを構築します。

後方支援活動の拠点基地の整備を図ります。

●原発に起因する直接・間接被害防止策について

放射性物質に係る安全対策と風評被害を払拭するための取り組みを推進します。

2. 「高速交通網」や「命を守る道路」の早期完成を実現します。

～コンクリートも人も大切に～

- 津波襲来時の避難道路やその後の緊急物資輸送道路、あるいは病院搬送等の緊急連絡路となりうる災害に強い高規格幹線道路等の早期全線開通を図ります。
 - 三陸縦貫自動車道（仙台市～宮古市）の早期整備
 - 八戸・久慈自動車道（八戸市～久慈市）の早期整備
 - 三陸北縦貫道路（宮古市～久慈市）の早期整備
 - 沿岸地域と内陸部を結ぶ東北横断自動車道釜石秋田線、宮古盛岡横断道路（国道106号）、盛岡秋田横断道路（国道46号）、国道281号等の一体整備
- 壊滅的な被害を受けた沿岸都市を結ぶ三陸縦貫鉄道を形成する三陸鉄道及びJR線（八戸線、山田線、大船渡線）の早期復旧を図ります。

3. 健康で安心できる県民生活を構築するための「医療基盤整備・医療体制の安心確保」

- 大震災津波により破壊された県立病院（高田、山田、大槌）の安全な場所での早期復旧を目指します。
- 地域との連携により地域医療の再生を進め、緊急時や災害に強い病院づくりを進めます。
- 医科大学定員増の効果が現れるまでの期間、限られた人的医療資源の中で必要な時に救急医療や産科医療を受けられる体制をつくります。
- 市町村と医師、歯科医師との連携を深め、健康診断、8020運動の充実等により健康寿命を延ばします。さらに、○障がい者施策の充実、○社会福祉施設防災対策の推進、○自殺対策の強化に積極的に取り組みます。

4. 「活力あるいわて」を創る地域振興策

- 被災企業への再建支援策

被災地における中小企業者が抱える二重債務問題の対策に取り組むとともに、直接・間接被災中小零細企業等への再建支援と復興に向けた取り組みの積極的推進を図ります。
- 地域を支える中小企業対策、建設業の健全な育成

地元中小企業の再生のため、官公需の地元発注を進めます。また、公共工事の品質を確保し、地域の雇用と経済を支える中小、中堅建設業などを発展させるため、中小企業向けの分離・分割発注の推進、最低制限価格等の引上げ等によるダンピング対策の徹底、実績要件の緩和など、地域性を重視した入札制度の設定を行います。

●商店街活性化

仮設商店街の開設等による地域で失われた商機能回復のための支援を推進します。空き店舗の活用や、無料のパーキングエリアを整備するなどして駅前や中心市街地の賑わいを取り戻します。

●観光立県の実現

失われた観光資源の再生と新たな魅力の創造による全県的な誘客への取り組みを推進するとともに、世界遺産に登録された平泉を中心として、グリーンツーリズム等本県の特徴である豊かな自然を活かした観光産業を育成し、「観光立県いわて」の実現を通じながら地域活性化を進めます。

5. 大震災からの早期復旧・復興により、岩手に住み続けられる雇用を創ります。

●農林水産業で雇用開発

震災による失業者の雇用促進対策を推進するとともに、都会からのＩターンなど第一次産業への新規就農者を支援。農林水産業を雇用の受け皿として育てます。

●自動車生産拠点の拡充強化

次世代自動車の生産拠点を目指し、隣県と連携し、企業誘致とその推進、また、通勤圏の広域化のため交通・社会基盤整備を図ります。

●雇用の維持、創出

従来の企業誘致支援に加え、進出企業に対するフォロー施策を充実させます。

●職業訓練、職業紹介等の充実

失業者への就職、生活支援を行う「いわて求職者総合支援センター」を拡充し、訓練、再就職、生活、住宅など総合的な支援を充実させます。

6. 「食糧供給県いわて」の農林水産業の充実

●力強い水産業の早期復旧・復興

漁港等漁業関連施設の早期復旧、漁船・漁具の確保により漁業従事者への環境整備を図り、本県漁業の主要魚種であるさけ・ます増殖事業の充実、ウニ・アワビ等磯資源の増大による水産業の体質強化。海の駅、産直など地産地消の取り組み支援を行い、県産水産物を安定的に供給する体制づくりを行います。

●ＴＰＰ交渉参加に反対

県内農業に壊滅的な打撃を与えるＴＰＰ（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉に参加しないことを政府に強く求めます。

●県内農林業の所得の拡大

被災農地の早期復旧、稲わら、肥料等の放射能汚染にまつわる諸問題の解決を図り地産地消、都市での農畜産物直売、産直、農商工連携、食育などをさらに推進し、学校給食での地場農畜産物の利用を拡大させます。さらに国内主要市場でのブランド力を高めるため、物産展等へのさらなる積極的展開を図り、また米粉の普及、消費拡大を図ります。

●森林対策の拡充

県の公共施設への県産材使用の推奨を強化するとともに県産材を活用した住宅建設を促進します。また間伐や皆伐後の植林等の森林整備を実施します。さらに路網整備を進め、建設業との共存を図ります。

7. 「未来への責任」資源・エネルギー、環境・地球温暖化対策の推進

●新たなエネルギーシステムの構築

県内における水力、風力、地熱、太陽光、波力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの開発、普及促進、ビジネス化により本県の電力自給率を大幅に引き上げます。

●低炭素社会づくりの推進による地球温暖化防止

県民総参加により環境と経済がともに向上する社会改革を進め、再生可能なエネルギーの供給拡大、グリーン化、ゼロ・エミッション（自然界への廃棄物の排出がないシステム）などを推進する「低炭素地域づくりいわて基本条例」を制定します。

●生活の安全・安心と調和する美しい自然と生物多様性の保全

自然と自然保護団体との対話、信頼醸成を進め、土地の有効利用、河川の氾濫対策等と調和する自然と生物多様性の保全を図ります。

●資源循環型社会の構築

エコタウン、レアメタル回収等を通じた地域活性化を進めます。

8. 少子高齢化社会への対応

●被災児童生徒への支援

被災児童生徒に対する心のサポートや厚い支援を継続的に行います。

●被災福祉施設の復旧・復興

破壊流出した福祉施設の早期の復旧・復興を目指します。

●明るく豊かな長寿社会の実現

著しい少子高齢化社会の中、地域文化の継承発展、子どもたちの健全育成に高齢者の経験や知識を活かし、老若男女が安心して暮らせる地域社会を実現します。

●安心して働ける環境の整備

放課後児童クラブの充実など、仕事と子育てが両立できる環境整備を進めます。

●介護サービスの改善

介護におけるケアマネージャーの重要性の認識を深め、ケアマネを中心とした医療・福祉の連携体制を構築します。

●介護施設の充実

特別養護老人施設を拡充し、入所待機者の解消を図ります。

9. 「教育の改革」を進め、いわての礎を築きます。

●被災学校施設の早期復旧整備

大震災津波で破壊流出した学校施設の安心安全を確保した早期建設を図ります。

●命を守る「防災教育」の充実

地震・津波・台風・火災などの災害を身近な危険として認識し、日頃から備え、災害の被害を防ぐため、地域の実情に合った「防災教育」を充実します。

●安心して教育が受けられる社会の実現

公立学校施設の耐震化工事を促進します。

高校再編は地域の理解を前提とし、地域や産業界が求める人材育成の観点を踏まえながら進めます。また、再編に伴う通学困難者への支援を充実させます。

●次代のいわてを担う子どもたちへの教育

小学校における30人学級の実現、本県固有の教育振興運動の発展強化などにより、国内トップレベルの基礎学力を実現させます。

●スポーツ・文化芸術の振興

2016年2順目岩手国体の開催を復興のシンボルとして推進し、競技団体ごとの実情を踏まえたトップレベル競技者の育成、強化を行います。

地域における文化芸術音楽活動などを地域活性化の一環として位置づけ、振興・継承を図ります。

私たちは、県民の声を大切にします。

〒020-0021

岩手県盛岡市中央通3丁目7-1 岩手政経ビル内
自由民主党岩手県支部連合会